

《聽風的歌》華語翻譯剖析

賴錦雀

東吳大學日本語文學系教授

摘要

2006 年起多次成為諾貝爾文學獎候選人的村上春樹在台灣擁有眾多的讀者，而台灣的賴明珠不但是世界第一位將村上小說介紹給日語以外國度的翻譯家，也是台灣翻譯最多村上小說的人。究竟讀者透過華語翻譯本來閱讀村上文學時，是否能夠百分百地接收到村上作品的內涵？譯本與原文之間是否達到完全契合的境界？本論文從視覺觀點及語學考察的觀點探討賴明珠翻譯的村上春樹第一本小說《聽風的歌》之翻譯狀況。期待本論文對於日語翻譯教育能夠有所助益。

關鍵詞：日華翻譯、村上春樹、聽風的歌、賴明珠、視覺表達

受理日期：2018.03.10

通過日期：2018.05.11

Analysis of the Chinese translation of " Hear the Wind Sing "

Lai, Jiin-Chiueh

Professor, Soochow University, Taiwan

Abstract

Murakami Haruki, who has been a candidate for the Nobel Prize for Literature many times since 2006, has a large number of readers in Taiwan. Lai Ming zhu is not only the world's first translator who introduced Murakami's novels to languages other than Japanese, but also is the one who translated most of Murakami's novels in Taiwan. Can the reader fully understand the meaning of Murakami's works when reading Murakami Haruki's work in Chinese? Is there a difference between translation and original text? In this paper, I will use the debut work of Haruki Murakami "Hear the Wind Sing" and Lai Ming zhu "Ting fong de ge" as texts, to consider the translation situation from viewing and language viewpoint. I hope this paper will be able to help Japanese translation education.

Keywords: Japanese-Chinese Translation, Murakami Haruki,
"Hear the Wind Sing", Lai Ming zhu, viewing.

『風の歌を聴け』の中国語訳の解剖

頼錦雀

東呉大学日本語文学科教授

要旨

2006年からノーベル文学賞候補に挙がる村上春樹は、台湾に多数の読者を抱えている。頼明珠は村上の小説を日本語以外の言語で紹介した世界最初の翻訳家であり、台湾で村上春樹の作品を一番多く中国語に訳した翻訳家でもある。読者は村上文学を中国語で読む際、村上の作品の意味を十分に理解することができるのだろうか？翻訳と原文の間にずれがないのだろうか。本稿では村上春樹のデビュー作『風の歌を聴け』と頼明珠訳《聽風的歌》をテキストに、ビューイングの観点と語学的観点から翻訳状況を考察する。本稿が日本語翻訳教育の助けになることができれば幸いである。

キーワード：日中翻譯、村上春樹、『風の歌を聴け』、頼明珠、
ビューイング

『風の歌を聴け』の中国語訳の解剖

頼錦雀

東呉大学日本語文学科教授

1. はじめに

村上春樹は1979年にデビュー作『風の歌を聴け』で小説家になったが、1987年にヨーロッパで書いた『ノルウェイの森』が大ベストセラーになって知名度が大きく上がった。そして『海辺のカフカ』の英訳版“*Kafka on the Shore*”が2005年にニューヨーク・タイムズの“The Ten Best Books of 2005”に選ばれ、2006年にフランス・カフカ賞を受賞したことによって、2006年からノーベル文学賞候補に挙がる¹ようになった。

大ベストセラー『ノルウェイの森』が刊行される前の1985年に、台湾の頼明珠女史によって村上春樹作品が台湾、中国、香港、シンガポール、マレーシアなどの中国語の世界に初めて紹介された。頼明珠は村上春樹に対する評論を読んで興味を感じたので1985年、雑誌『新書月刊』8月号に村上の短編小説の翻訳を投稿した。これが世界最初の村上春樹文学の翻訳であった²。1989年に『ノルウェイの森』の中国語訳『挪威的森林』（劉惠禎、黃琪玫、傅伯寧、黃翠娥、黃鈞浩訳、故郷出版社）が出された時から台湾における「非常村上」という流行語が造られ、村上ブーム「村上春樹現象」が発生し、「挪

¹ 村上春樹は2005年、『海辺のカフカ』の英訳版『*Kafka on the Shore*』が『ニューヨーク・タイムズ』の“The Ten Best Books of 2005”に選ばれた。2006年、フランス・カフカ賞、フランク・オコナー国際短編賞（Frank O'Connor International Short Story Award）を続けて受賞した。特にカフカ賞は、2005年度の受賞者ハロルド・ピンター（Harold Pinter）、2004年度の受賞者エルフリエ・イエリネク（Elfriede Jelinek）がいずれもその年のノーベル文学賞を受賞していたことから2006年度ノーベル賞の有力候補として話題となった。詳しくは wikipedia (<https://ja.wikipedia.org/wiki/村上春樹>) と健康一番（ノーベル賞2015 村上春樹の受賞は？毎年候補と言われるのに落選し続ける訳）のサイトを参照されたい。

² 藤井（2007）、張（2009）による。『新書月刊』1985年8月号に「特稿：村上春樹的世界/頼明珠選譯」として掲載された。

威森林」と言語景観が出て「挪威的森林」という流行歌まで人気歌手の伍佰によって創作された。そして、2002年に『ランゲルハンス島の午後』の中国語訳『蘭格漢斯島の午後』が出版され、その造語の「小確幸」が台湾で広く上げられ、今日までに至っている³。

このような村上の人気のもとで、2011年に淡江大学村上春樹研究室（2014年に村上春樹研究中心に改名）が成立して、台湾における本格的な村上春樹研究がスタートした。そして2012年から毎年、台湾か日本で村上春樹国際シンポジウムが行われ、多く論文が発表され村上春樹文学やその翻訳について討論が交わされた。論文テーマで見た場合、その中で村上の処女作『風の歌を聴け』については下の表のような発表があったが、文学的考察が多く翻訳関係のものが1本しかなかった。

本稿では日本語教育的視点から村上春樹『風の歌を聴け』（以下『風』とも）と頼明珠訳《聽風的歌》（以下《聽》とも）をテキストに村上春樹文学がどのように台湾で読まれているのかを考察する。

(表 1) 淡江大学村上春樹研究国際研討会における『風の歌を聴け』

- | |
|--|
| *林雪星（2012）「村上春樹作品における中国の記憶—『風の歌を聴け』『中国行きのスロウ・ボート』を中心に」第1回村上春樹国際学術研討会 |
| *劉曉慈（2012）「村上春樹『風の歌を聴け』の「仏文科の女の子」—「僕」の語りから見て」第1回村上春樹国際学術研討会 |
| *頼錦雀（2013）「『風の歌を聴け』の中国語訳の解剖」第2回村上春樹国際学術研討会 |
| *謝郁瑩（2013）「村上春樹『風の歌を聴け』における分身関係—「僕」と「鼠」の関係を中心に」第2回村上春樹国際学術研討会 |
| *石川隆男（2015）「『風の歌を聴け』に見る両義性—デタッチメント&コミットメント」第4回村上春樹国際学術研討会 |
| *楊炳菁（2017）「村上春樹文学における「魅惑」—『風の歌を聴け』における高校時代の女の子を例として」第6回村上春樹国際学術研討会 |

³ 2018年2月6日『蘋果日報』にも「【設計師看2018】裝潢小確幸 金色系新禪風當寵」というニュースが見られた。

2. 先行研究

『風の歌を聴け』についての論述は次のようなものがある。山根（1999）は物語の構成と〈影〉の存在という視点から『風の歌を聴け』を論じている。柿崎（2010）は過去へと向かう語りをめぐる『風の歌を聴け』論を述べている。2本とも文学研究のものである。翻訳関係の論述には藤井（2007）、陳（2006）と張（2009）が見られる。

藤井（2007）が述べているように、台湾人はどのように村上文学を読んできたのだろうかということを考えるとき、まず翻訳家の頼明珠と村上文学の出会いから見なければならない。頼明珠は村上の第一作『風』の中国訳が『ピンボール』『カンガルー』に次いで三番目の刊行になった事情については、「村上の新しい作風が台湾の読者には受け入れ難く、特に『風』は明らかなプロットの変化はなく、見落とされる可能性が強かったため、物語の強い別の二作で先陣を切った」と説明している⁴。また、『風』の「作中人物は現代都市生活に身を置き、身体動作は通俗にして着実だが、目と心は俗世から離脱してさまよっている…（村上は）ほかの作家のような執着と熱狂を見せるところなく、無頓着に隠すことなく直接に彼が見たもの、感じたこと、思ったことを淡々と軽く描写するのだ」と指摘している⁵。このような頼明珠の考え方はその中国訳の訳風に大きく影響を与えたのではないかと思われる。

陳瑩玉『村上春樹《聽風的歌》中譯本研究』（2006）は頼明珠訳《聽風的歌》と林少華訳《且聽風吟》を比較した修士論文である。主に文学翻訳の問題、誤訳、加訳、減訳、不適切な翻訳及び文化的差異について頼訳と林訳を比較しているが、直訳好きの頼訳は原文に拘ったため表現不足の嫌いがあり、意識好きの林訳は多量の加訳、減訳によって表現過剰の嫌いがある、という批判は納得できると思う。

⁴ 頼（2009a）《聽》「訳序」（1995）による。日本語訳は藤井（2007）からの引用である。

⁵ 同上掲注。

張明敏《村上春樹文學在臺灣的翻譯與文化》(2009)は台湾における村上春樹の翻訳過程、翻訳作品、翻訳作品の売れ行きに関する総合的研究である。但し、『ノルウェイの森』について詳しく論じているが、『風』のことはあまり取り上げられなかった。

本稿では『風の歌を聴け』の頼明珠訳《聽風の歌》をテキストに、村上春樹『風の歌を聴け』は中国語の世界でどのように読まれているのかを明らかにする。上述したように村上春樹の作品を中国語に訳し、日本以外の所に紹介した最初の翻訳家は台湾の頼明珠である。頼明珠は、訳すには文法よりもテキストの雰囲気、リズム、特徴などを大事にすべきだと述べている⁶が、一体、その中国語によって読まれる『風の歌を聴け』と原文の日本語版とどのような異同があるのか、日本語教育の立場からそのビューイング的側面及び語学的側面について考察してみたい。

3. ビューイング的考察

カナダ、アメリカ、イギリス、オーストラリア、ニュージーランドにおける英語教育のなかに、テレビ、写真、漫画などの視覚的表現の理解を目指して「viewing」という教育領域が設定されるようになった⁷。台湾の英語教育でも聴解、発話、読解、書写の技能に「viewing」「visually representing」という技能を導入した小学校がある⁸。翻訳の考察においても視覚的表現を重視すべきだと思われる。ここでは、『風』と《聽》のカバー、紹介文、句読点、太字、版面・挿絵について考察する。

3.1 カバー

『風の歌を聴け』の1979年文庫版と1982年文庫版のカバーは男が一人で海辺に座って明かりの前に佇む倉庫や灯台を眺めている、

⁶ 頼 (2009b)による。

⁷ 門倉 (2011)を参照。

⁸ 苗栗・僑樂国民小学校では英語イマージョン教育を重視しているが、インタラクティブを重視する教育方法で聴解、発話、読解、書写の外に、視覚観察 (viewing) と図形描写 (visually representing) の複式技能を養成するのである。詳しくはホームページを参照されたい。

鮮やかな色彩で描かれた絵本風のものである。港の景色で作者の村上の古里の神戸のことが思い浮かべる。それに対してその中国語訳《聽風的歌》の1992年版のカバーは日本的イメージではなく、現代風の造形のものであり、2009年版のカバーは犬が一匹で大空の下の草原の端に立って風を聴いているような姿の写真である。原本と訳本とは全然情緒が全然カバーになっている。

そして、原本の装画には「HAPPY BIRTHDAY AND WHITE CHRISIMAS」という英文字が付いているが、中国語訳本にはそれについてのデータは見つからない。実はその英文字は次のような『風の歌を聴け』の最後のところにある記述に関係している（例1）。

しかし、中国語で鑑賞する場合、読者はカバーでこのメッセージに触れることはできない。

(1) 鼠はまだ小説を書き続けている。彼はその幾つかのコピーを毎年クリスマスに送ってくれる。（中略）原稿用紙の一枚めにはいつも

「ハッピー・バースデー、
そして
ホワイト・クリスマス。」
と書かれている。僕の誕生日が12月24日だからだ。

（『風』 p. 149）



3.2 紹介文

1982年に出版された『風の歌を聴け』の文庫本のカバーの裏には紹介文が書いてある。それに対して、中国語訳の紹介文はカバーにあるのみならず、本文の前の頁にもある。但し、原文『風』はストーリーのあらすじと受賞歴（例2）を紹介しているが、頼訳はカバ

一では『風』の誕生のこと（例3）、中国語訳出版30周年のこと（例3）と「微かな南風の運んでくる海の香りと焼けたアスファルトの匂いが、僕に昔の夏を思い出させた。女の子の肌のぬくもり、古いロッキン・ロール、洗濯したばかりのポタン・ダウン・シャツ、プールの更衣室で喫った煙草の匂い、微かな予感、みんないつ果てるともない甘い夏の夢だった。そしてある年の夏（いつだったろう？）夢は二度と戻っては来なかった。」（『風』pp.101-102。中国訳は例4）という内容の一部、そして本文の前では「夏の香りを感じたのは久しぶりだった。潮の香り、遠い汽笛、女の子の肌の手ざわり、ヘヤー・リンスのレモンの匂い、夕暮の風、淡い希望、そして夏の夢……。しかしそれはまるでずれてしまったトレーシング・ペーパーのように、何もかもが少しずつ、しかしとり返しのつかぬくらいに昔とは違っていた。」（『風』pp.135。中国訳は例5）という内容の一部を紹介している。原本は事務的で、訳本は情緒的で、両者のイメージは違っている。

(2) 一九七〇年の夏、海辺の街に帰省した〈僕〉は、友人の〈鼠〉とビールを飲み、介抱した女の子と親しくなって、退屈な時を送る。二人それぞれの愛の屈託をさりげなく受け止めてやるうちに、〈僕〉の夏はものうく、ほろ苦く過ぎ去っていく。青春の一片を乾いた軽快なタッチで捉えた出色のデビュー作。群像新人賞受賞。（『風』カバー）

(3) 晴朗的天空，鮮嫩的草坪，外加球棒的輕脆聲，就這個瞬間村上產生念頭：「對了，來寫小說看看」，於是，不久後誕生《聽風的歌》。

當時經營酒吧的他，從未寫作過，
因為過於忙碌，而沒時間想過要寫。

深夜酒吧打烊後，在自家的廚房桌上寫稿寫到因為止……

畢竟是有一股砰、砰、砰的氣勢，

《聽風的歌》有第一聲砰的氣勢，
引出了接續的作品，就這樣經過了 30 年。

(《聽》カバー)

(4) 輕微的南風，送來海的香味和曝曬的柏油氣味，使我想起從前的夏天。女孩子肌膚的溫暖、古老的搖滾樂、剛洗好的 button-down 襯衫、在游泳池更衣室抽的煙味、微妙的預感，都是一些無止境的夏天甜美的夢。然後有一年夏天（到底是哪一年？）夢再也沒回來過。

(《聽》カバー。出典：《聽》p. 105。『風』pp. 101-102)

(5) 很久沒有感覺到夏天的香氣了。

海潮的香，遠處的汽笛、
女孩子的肌膚的觸感、潤絲精的檸檬香、
黃昏的風、淡淡的希望、夏天的夢……。
但這些簡直就像沒對準的描圖紙一樣，
一切一切都跟回不來的過去，
一點一點地錯開了。

(《聽》本文の前。出典：《聽》p. 137。『風』p. 135)

3.3 句読点

頼明珠訳村上春樹中国版の評判は、村上春樹の原文に近い、ということである。それについては賛否両論であるが、ここでは、句読点から『風の歌を聴け』の原文と頼明珠中国語訳との異同点について考察する。

3.3.1 句読点の付け方

次の引用では、中国語訳の句読点の付け方は原文と同じである。

(4) しかし、それでも、やはり何かを書くという段になると、いつも絶望的な気分に襲われることになった。僕に書くことのできる領域はあまりにも限られたものだったからだ。 (『風』p. 7。
下線は引用者。以下同。)

(4*) 但、雖然如此、每次要寫點什麼的時候、還是會被絕望的氣氛所侵襲。因為我能夠寫的領域實在太有限了。 (《聽》p. 19)

(5) 左手の指が 4 本しかない女の子に、僕は二度と会えなかった。
僕が冬に街に帰った時、彼女はレコード屋をやめ、アパートも
引き払っていた。そして人の洪水と時の流れの中に跡も残さず
に消え去っていた。(『風』 p. 149)

(5*) 左手只有 4 隻指頭的女孩子，我再也没有見過。冬天我回到那裡
時，她已經辭去唱片行的工作，公寓也退租了。而且在人的洪水
和時間之流中不留一點痕跡地消失了。(《聽》 p. 150)

しかし、次の引用文において日本語の原文には句読点は 5 つしか
ないが、中国語訳には句読点は 7 もある。

(6) 僕が大学生のころ偶に知り合ったある作家は僕に向ってそう言
った。僕がその本当の意味を理解できたのはずっと後のことだ
ったが、少くともそれをある種の慰めとしてとることも可能で
あった。完璧な文章なんて存在しない、と。

(『風』 p. 7。下線は引用者。)

(6*) 當我還是大學生的時候，一位偶然認識的作家這樣對我說。雖然
能夠理解那真正的含意，是在很久以後，不過至少把它當作某種
安慰倒是可能的。所謂完美的文章並不存在，這回事。(《聽》p. 19)

頼明珠はできるだけ原文に忠実に翻訳するのがその翻訳の原則で
ある、と述べている⁹が、上記の引用文から見れば、100 パーセント
そうするのは難しいようである。

3.3.2 傍点

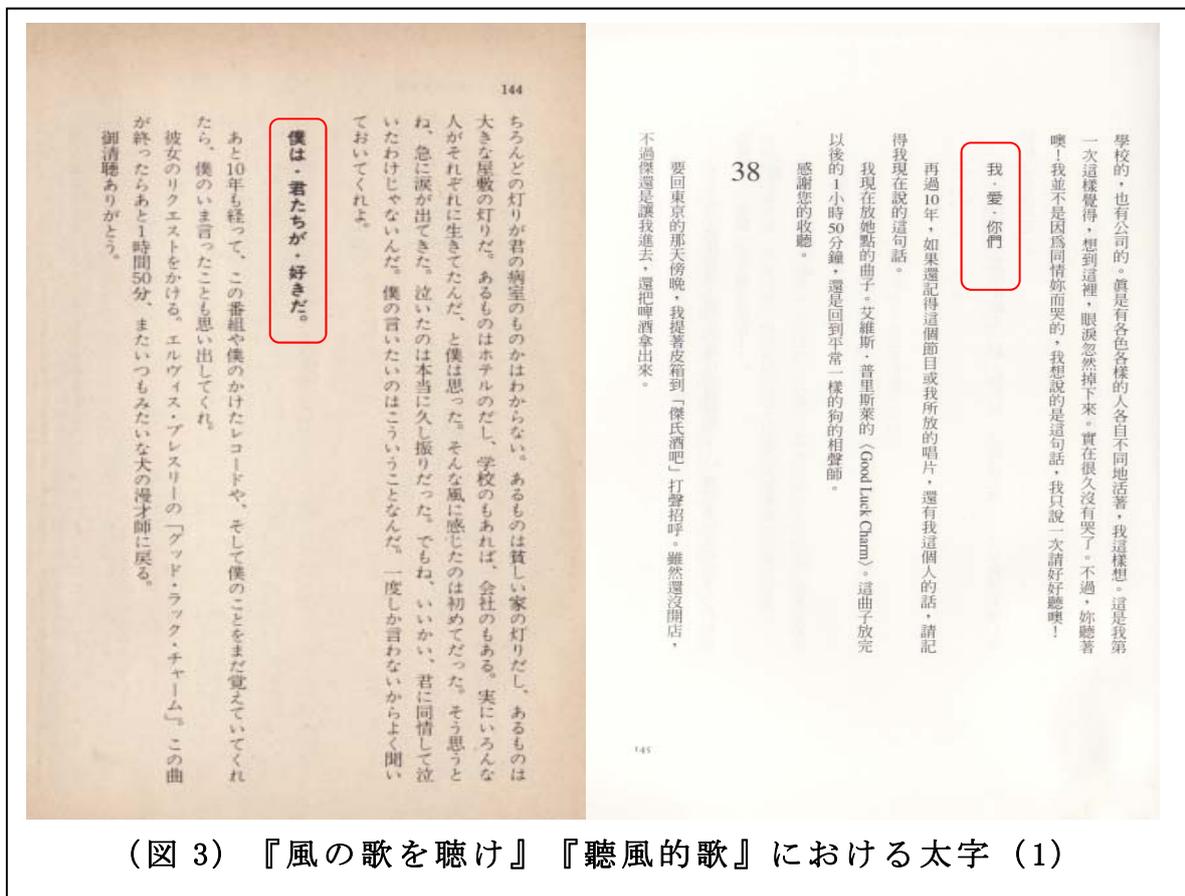
傍点の役割は文字や句に付けて、強調したい箇所を際立てさせる
ことである。頼訳《聽風的歌》には原文の傍点をそのまま表してい
る。但し、日本語では読点の「、」である(例 7-10)のに対して、中
国語訳では黒点の「・」である(例 7*-10*)。表記は異なっているが、
強調する意図は確かに原著に忠実だと言えよう。

(7) 「金持ちなんて・みんな・糞くらえさ。」(『風』 p. 13)

⁹ 詳しくは張(2009: 91-98)を参照されたい。

- (7*) 「有錢人，全都是狗屎！」（《聽》p. 25）
- (8) 「ずいぶん親切なのね？」（『風』p. 37）
- (8*) 「真是設想周到啊！」（《聽》p. 46）
- (9) たとえ放送局員の全員が気が狂ったとしても、ヒューズは絶対に飛ばない。（『風』p. 50）
- (9*) 就算廣播電臺全體員工都接瘋了，保險絲也絕對不會再燒斷。（《聽》p. 59）
- (10) 「科学的直觀力？」（『風』p. 86）
- (10*) 「科學的直覺力？」（《聽》p. 92）

3.4 太字



(図 3) 『風の歌を聴け』『聽風的歌』における太字 (1)

文字による表現において何かを強調するとき、傍点のほかに太字を使うことがある。『風の歌を聴け』ではそれほど多くはないが、題目でなく、内容で太字が用いられることが見られる（図 3）。中国語訳でもそれが太字で表されている。つまり、原文のニュアンスを中

国語訳でもキャッチできるということである。こういう文字の文化は声ほどリアルでなくても表現主体の意図を読者に伝えることができる¹⁰。

3.5 版面・挿絵

次はラジオの N.E.B のポップス・テレフォン・リクエストの DJ の台詞である。

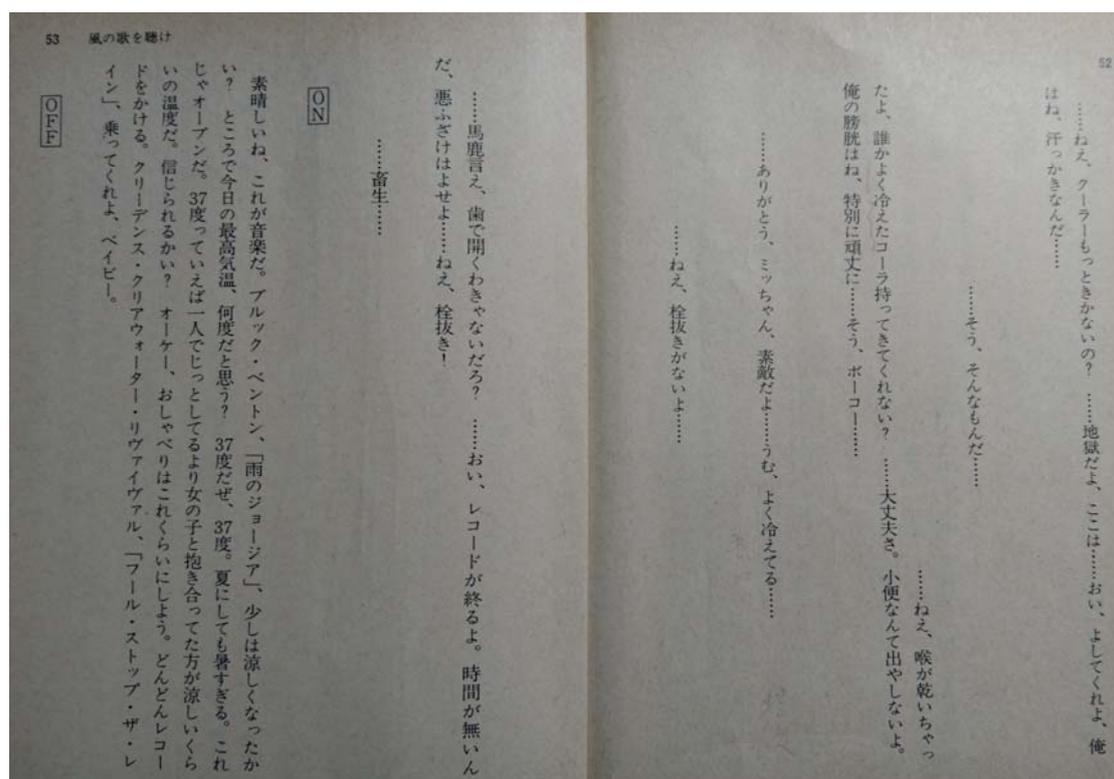
(11) OFF

(前略) ……ねえ、クーラーもつときかないの? ……

地獄だよ、ここは……おい、よしてくれよ、俺はね、汗っかきなんだ…… (後略)

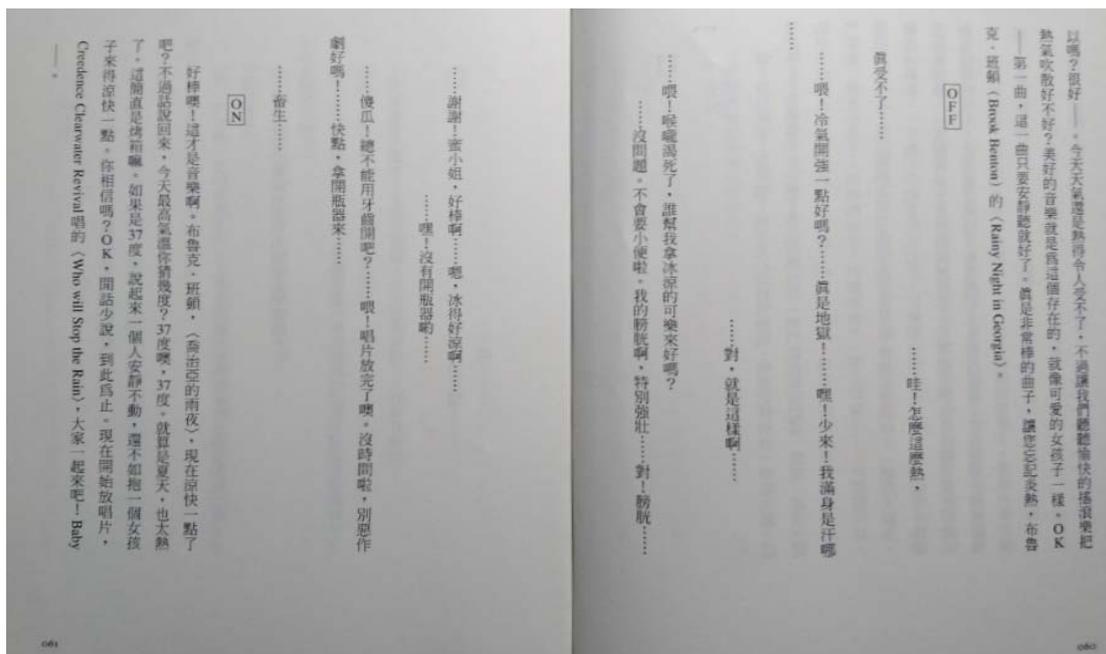
(12) ON

素晴らしいね、これが音楽だ。ブルック・ベントン、「雨のジョージア」、少しは涼しくなったかい? (後略)



(図 4) 『風の歌を聴け』における版面

¹⁰ 声の文化と文字の文化について詳しくはオング (1982) を参照されたい。

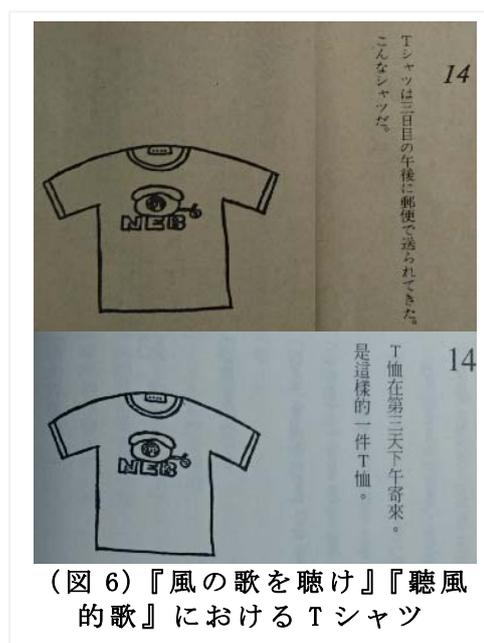


(図 5) 《聽風的歌》における版面

(図 4) を見て分かるように、次から次へと言葉がスムーズに出されている番組中の「ON」の状態のしゃべり方の記述法と、言葉が途切れ途切れになっている、音楽を流しているときの「OFF」の状態のしゃべり方の記述法の違いは一目瞭然である。このようなビューイングは日本語教育における読解指導において看過されがちなので要注意である。中国語訳でも原文の記述法への気配りができて

よかったと思われる(図 5 参照)。そして、14 章の T シャツは中国語訳にも図形があり、原著の 1970 年代における日本のラジオ番組のイメージをリアルに伝えている(図 6)。

以上考察したようなビューイング的側面は日本語文学鑑賞だけではなく、日本語教育現場においても大事にすべき項目である。今まであまり翻訳や教育の観点から論述されてこなかったようである



(図 6) 『風の歌を聴け』『聽風
的歌』における T シャツ

が、英語教育で重視されているように、今後日本語教育においてももっと工夫していいのではないかと思われる。

4. 語学的考察

ここでは使用言語、俳句、人称詞、語句の意味について考察する。

4.1 使用言語

頼明珠の翻訳文体は村上春樹の文体に近いとよく言われる¹¹が、その『風の歌を聴け』の中国語訳《聽風的歌》における使用言語から見れば、そうでもないようなところがあるように思われる。例えば、原文では英語とカタカナ語と両方用いられているが、英語はそれほど多くはなかった。例を見てみよう（例 13-17）。

(13) HAPPY BIRTHDAY AND WHITE CHRISIMAS (カバーの装画)

(訳なし)

(14) 「みんなの楽しい合言葉 M I C . K E Y . M O U S E 。」(『風』
p. 50)

(14*) 「大家快樂的約定語。 MIC · KEY · MOUSE 。」(《聽》 p. 58)

(15) O N O F F (『風』 p. 50. 51. 53)

(15*) O N O F F (《聽》 p. 59. 60. 61. 62)

(16) 「やあ、こんばんは。こちらラジオ N. E. , B のポップス・テレ
フォン・リクエスト。ラジオ聴いてくれたかい？」(『風』 p. 55)

(16*) 「喂！ 晚安！ 這裡是 N. E. B 廣播電台的《熱門歌曲電話點播》
節目。你是不是在聽收音機？」(《聽》 p. 61)

(17) 最後になってしまったが、ハートフィールドの記事に関しては
前述したマックリュア氏の労作、「不妊の星々の伝説」

(Thomas McClure; The Legend of the Sterile Stars: 1968)

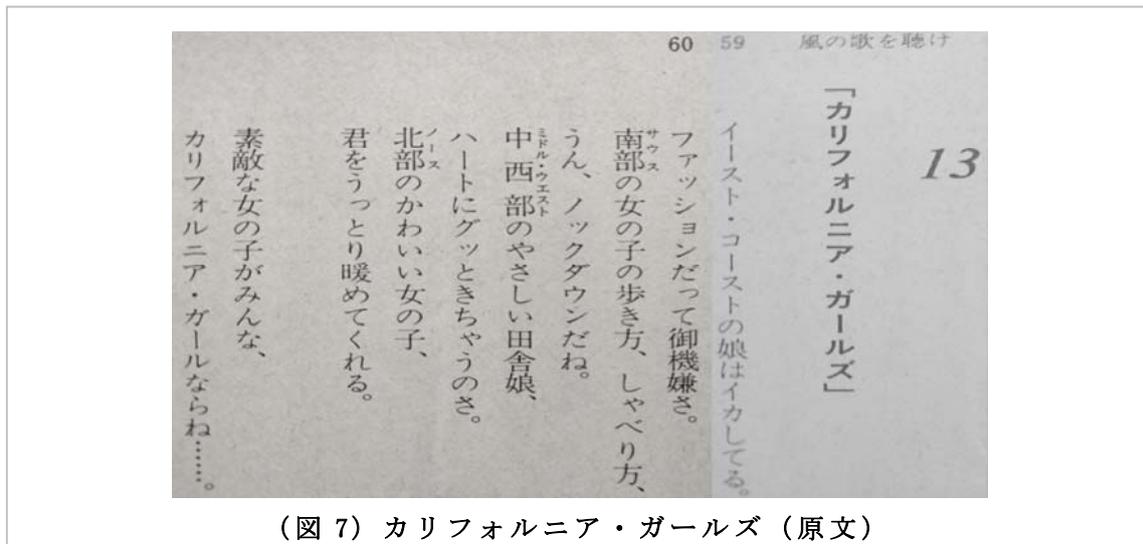
から幾つか引用させていただいた。感謝する。(『風』 p. 155)

(17*) 已經到最後了，有關哈德費爾的記事，引用了幾處前述馬克留
氏的力作《不孕眾星的傳説》(Thomas McClure; The Legend

¹¹ 張 (2009) 参照。

of the Sterile Stars, 1968)・特此致謝。(《聽》p.154)

日本語の言語体系から見れば英語は外国語である。カタカナ語は外国語由来のものだといっても日本語である。そして、表記体系においてはローマ字も日本語の表記の一つである。しかし、頼明珠の中国語訳を見てみると、必要以上に英語が用いられている違和感がある。もっとも納得できないのは「カリフォルニア・ガールズ」の歌詞の部分である。原文では日本語なのに中国語訳では全部、英語にされたのである。このような翻訳は日本語を英語に変えたものであるので、英語のできない中国語話者の読者には無用のようなものになる。ちなみに、原文の「素敵な女の子がみんな、カリフォルニア・ガールズならね……。」は歌詞と同じように句読点のところで改行が行われているが、中国語訳では(例 18*)のように「但願漂亮



(図 7) カリフォルニア・ガールズ (原文)

女孩子，全都是 California girls……。」は一行になっている。

(18) 「カリフォルニア・ガールズ」

イースト・コーストの娘はイカしてる。

ファッションだって御機嫌さ。

南部の女の子の歩き方、しゃべり方、

うん、ノックダウンだね。

中西部のやさしい田舎娘

ハートにグッとときちやうのさ
北部のかわいい女の子、
君をうっとり暖めてくれる。

素敵な女の子がみんな、
カリフォルニア・ガールズならね……。

(『風』 p. 59-60)

(18*) < California Girls >

Well, the East Coast girls are hip,
I really dig those styles they wear,
And the Southern girls with the way they talk,
they knock me out, when I' down there.
The Midwest farmer' s daughters
really make you feel all-right;
And the Northern girls with the way they kiss,
They keep their boy friends warm at night.
但願漂亮女孩子, 全都是 California girls……。

(《聽》 pp. 67-68)

エルヴィス・プレスリー主演映画主題歌の歌詞(『風』 p. 92)の中国語訳(《聽》 p. 97)も、〈鼠〉が毎年クリスマスに〈僕〉に送る小説のコピーの原稿用紙の一枚目に書いてある言葉(『風』 p. 149)の中国語訳(《聽》 p. 149)も同じような中国語ではなく英語に訳された技法である。

4.2 俳句

ラジオの N. E. B のポップス・テレフォン・リクエストの DJ は駄洒落で次のような俳句を作っている。

(19) かけて損、受けて迷惑、間違い電話、少し字余り、なんてね。

(『風』 p. 51)

(19*) 「撥的人損失，接的人麻煩，」字數不附和歌的五七五。打錯電話就多此一舉了。(《聽》 p. 59)

(20) 象の足、キリンの足より、ずっと太い、少し字余り。(『風』
p. 51)

(20*) 不用說「大象的腿，比長頸鹿的腿，還要粗」字數還是不符和
歌的五七五。(《聽》p. 59)

上記の中国語訳は考えものである。まず、「5、7、5」の俳句と「5、
7、5、7、7」の「和歌」を区別すべきである。この2句は俳句であ
る。日本語の韻文を中国語に訳すことは難しい技である。林文月《源
氏物語》では和歌が「楚辞」式にされている¹²。筆者はかつて王昶雄
の和歌を「5、5、5、5」の五言絶句の形に、俳句を「4、5、5」の形
に訳したことがある¹³。

(21) 水仙の芽を濡らしつつ柔らかき光のなかに春の雨降る
(王昶雄)

(21*) 柔柔春光中 簌簌細語落 輕輕露潤濕 圓圓水仙苞
(筆者譯)

(22) 雨止みて待ち構へしと蟬しぐれ (王昶雄)

(22*) 大雨驟停 迫不及待地 蟬鳴響雲霄(筆者譯)

また、次のように短歌を作り、それに対応する中国語を俳句風に
試してみたこともある。

(23) そよ風の頬を撫でる夕白鷺と外雙溪のせせらぎ見つむ

(23*) 徐風中 我與小白鷺 對立河畔 靜觀雙溪流 水潺潺潺潺
林建隆は次のように中国語の俳句を作っている。

(24) 稻草人(一)

秋涼了 何不連我 也一起收割

(25) 魚(二)

我還是要變成魚 儘管下輩子 仍會被釣起

ちなみに、詩人詹冰は「十字詩」の形で俳句を中国語で読んでい

¹² 例えば、「玉かづら絶えてもやまじ行く道の手向の神もかけて誓はむ」(『源
氏物語』「蓬生」)を「玉鬢斷兮雖暫離，衷心不違情依舊，道祇為證兮莫懷疑。」
に訳している。三句式は漢高祖「大風歌」と同じ形式である。

¹³ 許俊雅編『王昶雄全集』「短歌 俳句」を参照されたい。

る¹⁴。音節数から見れば一番俳句に近いかもしれない。

(26) 図書館出でて並木の落葉踏む (詹冰)

(26*) 圖書館 出來就踩 黃落葉 (詹冰)

(27) 金閣寺 雨に煙れる春の池 (詹冰)

(27*) 金閣寺 池中的倒影 真美 (詹冰)

ところで、前掲の「かけて損、受けて迷惑、間違い電話、少し字余り、なんてね。」(『風』p.51)と「象の足、キリンの足より、ずっと太い、少し字余り。」(『風』p.51)の両方とも「字余り」のことが取り上げられている。「字余り」とは和歌、俳句などで音数が定まった音より多いことを指すのである。(例19)、(例20)は「5、7、5」の俳句のつもりで言われているので、字余りのことを考えれば、(例19*) (例20*)を次のように「5、7、6」に修正したほうがよいと思われる。

(19 改訳) 撥的人損失，接的人覺得麻煩，就是打錯電話。

(20 改訳) 大象的腿啊，比起長頸鹿的腿，粗的很多很多。

確かに和歌、俳句の翻訳は難しいが、一方、自由自在に訳せるものでもある。但し、この度は「字余り」とはつきり述べられているので、音節数のことを考慮に入れて「字余り風」に訳したほうがふさわしいのではないだろうか。

4.3 人称詞

日本語では自称詞として用いられるのはいろいろあるが、『風の歌を聴け』では「私」「わたし」「わたくし」「あたし」「僕」「俺」「私たち」「僕たち」「俺たち」が用いられている。主人公は20歳の男子学生で「僕」と自称している。その友達の「鼠」は「俺」を自称詞として使う。そして、バーテンのジェイは男であるが、「あたし」を使っている。一方、九指の女の子は自分のことを「私」という。全体的に見た場合、『風の歌を聴け』においては「僕」が417回、

¹⁴ 李(2003)による。

「俺」が 25 回、「私」が 52 回、「あたし」が 5 回出ているが、「僕たち」が 47 回、「俺たち」が 7 回、「私たち」が 2 回用いられている。単数の一人称詞の使用回数 499 は複数の一人称詞の使用回数 56 よりずっと多い。その中国語訳の《聽風の歌》においては、単数の一人称詞「我」が 691 回、複数の一人称詞「我們」が 70 回用いられている。単数の一人称詞も複数の一人称詞も中国語訳のほうが日本語原文より多くなっている。もともと中国語に比べて日本語は一人称が省略される傾向にある。言い換えれば、中国語訳から日本語に復元させる場合、一人称詞の取り扱い方は厄介なものになる。特に、「私の責任」（『風』p.41）を「我自己的責任」（《聽》p.49）のように「自己」を加えることもあるので、人称詞使用においては中国語訳からは日本語原文の使用状況が想像できないことも考えられる。

対称詞においては「あなた」「君」「お前」「君たち」を合わせて 80 回用いられているが、中国語訳では「你」「妳」「您」「你們」が合わせて 241 回使用されている。中国語訳の使用例は日本語の原文の 3 倍である。このような一見簡単な人称代名詞の使い方は日本語翻訳において要注意である。

4.4 語句の意味・用法

ここでは語句の意味・用法について述べる。まず、同じ言葉に対応する中国語訳のことである。勿論多義語の場合は意味によって同じ語形でも違った訳語になることが考えられる。しかし、同じ意味の場合はやはり同じ言葉に訳したほうがいいように思われる。例えば、次の例の「完璧」は両方とも「完美」に訳したほうがいいのではないだろうか。

(28) 「完璧な文章などといったものは存在しない。完璧な絶望が存在しないようにね。」（『風』p.7）

(28*) 「所謂完美的文章並不存在，就像完全的絶望不存在一樣。」（《聽》p.19）

(28 改訳)「所謂完美的文章並不存在，就像完美的絶望不存在一樣。」

日本語教育における悩みはいろいろあるが、時代性がその一つである。例えば、日本の「中学」に当たる台湾の中国語は1968年までは「初中」だったが、義務教育が九年間になった1968年以降は「國民中學」（略称「國中」）という。次の（例29）における「初三」は中国語訳《聽風的歌》の「時報人間叢書」の1988年でも「時報紅小説」の1992年でも四版の2009年でも使われなかった言葉であるので、改訳か注釈を付けるべきである。

（29）僕が絶版になったままのハートフィールドの最初の一冊を偶然手に入れたのは股の間にひどい皮膚病を抱えていた中学三年生の夏休みであった。（『風』p.10）

（29*）我偶然得到第一本哈德費爾已經絕版的書，是在大腿間得了非常嚴重皮膚病的初三暑假。（《聽》p.21）

「不毛」は中国語では「不毛之地」といって「土地が瘠せていて作物や草木が育たないこと」を表す。（例30）における「不毛な作家」は作家としての素質がないし、あまりいい作品もできていないというように解釈してみれば、「不毛的作家」が不適切な訳語である。「無可救藥」とか「沒有成就」¹⁵とかも考えられるが、「才疏無成」という訳語でもいいのではなかろうか。日中同形語は意味において同義、類義、異義といろいろな類型があるので、日本語教育では要注意である¹⁶。

（30）不幸なことにハートフィールド自身は全ての意味で不毛な作家であった。（『風』p.9）

（30*）不幸的是哈德費爾自己在各方面來說，都是一個不毛的作家。（《聽》p.20）

『風の歌を聴け』における「～としても/たとえ～としても」の中国語訳は作者の意味を読者に伝える点においてはあまり役立たない翻訳が多い（例31、32）。そして、語形に近い「たとえ」と「例え

¹⁵陳（2006）を参照。

¹⁶日中同形語の意味対応について詳しくは文化庁（1983）『漢字音読語の日中対応』を参照されたい。

ば」の違いに気を付けなければならない（例 32）。

(31) 例えば象について何かが書けたとしても、象使いについては何も書けないかもしれない。そういうことだ。（『風』 p. 7）

(31*) 例如假定關於象，我能寫點什麼的話，也許關於馴象師就什麼也寫不出來，就是這麼回事。（《聽》 p. 19）

(31 改訳) 例如縱然能夠寫些有關大象的事，卻無法寫出任何關於馴象師的事也說不定。就是這樣。

(32) 奴はそういったタイプじゃないんだ。たとえ部屋の中に 50 人の女を連れこんでグデングテンに酔払ってたとしても自分の電話は必ず自分で取る。わかるかい？（『風』 p. 35）

(32*) 那傢伙不是這一型的。例如就算他帶了 50 個女人進房間，爛醉如泥了，自己的電話，還是一定會自己接的。妳了解嗎？（《聽》 p. 44）

(32 改訳) 那傢伙不是這一型的。就算帶了 50 個女人進房間，爛醉如泥了，自己的電話，還是一定會自己接。妳了解嗎？

ちなみに、頼明珠訳《聽風的歌》に対して、中国の翻訳家林少華訳は《且聽風吟》というタイトルになっている。《聽風的歌》は現代風の白話体だと言え、《且聽風吟》は古風の文語体である。善し悪しのことではなく、それぞれの翻訳家の好みによって異なった訳風が表されているのである¹⁷。

4.5 終助詞—「ね」の場合

日本語にも中国語にも終助詞の使い方は活発であるが、『風の歌を聞け』における終助詞はその中国語訳《聽風的歌》ではあまり如実に表されていないようである。第 1-10 章の「ね」を例として見ると、それに対応する中国語は「啊（4 例）」「喲（1 例）」「呀（1 例）」「嗎（1 例）」「吧（4 例）」「噢（2 例）」「（訳なし）（52 例）」である。この考察結果で分かるように、婉曲的表現の終助詞の約

¹⁷ 匿名の審査の先生から《聽！風之歌》という提案があったが、確かにもともとの書名のニュアンスに近いと思われる。

80%が無視されたので、そのニュアンスが中国語訳の読者に伝えられなくなったのである。

(33) 30分ばかりしてから急に誰かに会いたくなかった。海ばかり見ると人に会いたくなるし、人ばかり見ると海を見たくなる。変なもんさ。それで『ジェイズ・バー』に行くことにした。ビールも飲みたかったし、あそこでなら大抵は友だちにもあえるしね。でも奴は居なかった。それで一人で飲むことにしたんだ。一時間ばかりかけてビールを三本飲んだよ。(『風』 p. 34)

(33*) 過了大約 30 分鐘，忽然很想看看什麼人。一直只看海，就會想看人，看多了人，又會想看海。真是奇怪。於是我決定到『傑氏酒吧』去。因為想喝啤酒，而且在那裡多半可以看到朋友。可是那傢伙不在。我只好一個人喝。一個鐘頭喝了三瓶啤酒。(《聽》 p. 43)

(34) 僕は番号を間違えたフリをして謝って電話を切ったよ。切ってから少し嫌な気分になった。何故だかはわかんないけどね。(『風』 p. 35)

(34*) 我裝作撥錯號碼，道歉一聲掛了電話。掛上以後心情有點不好。雖然不知道為什麼。(《聽》 p. 44)

(35) 「ん……、半分は当たってるわね。先月離婚したのよ。離婚した女の人とこれまでに話したことある？」(『風』 p. 48)

(35*) 「嗯……猜對一半。上個月才剛離婚。你以前有沒有跟離婚的女人說過話？」(《聽》 p. 57)

5. おわりに

翻訳は再創作とも言えるが、その内容だけではなく、カバー、紹介文、句読点、太字、版面、挿絵などのビューイング的要素も外国語教育的見地から考察する価値があるものである。語学的考察と文化的考察も重要であるが、文化的要素の場合は論者によって説が分かれることも考えられる。本稿では実例を挙げて『風の歌を聴け』における俳句、特に字余りの件について考えた。このような文化的

要素の背後にあるのは文学の素養の有無だと思われる。最近、台湾の日本語教育現場では日本文学があまり重視されていないような気がするが、文学作品かその翻訳の鑑賞が異文化交流能力育成のプラスになると思われるので、ぜひ日本語教育教材としての文学作品の可能性を考慮に入れるように関係者の各位におすすめしたいものである。

台湾では 1990 年代以降、いわゆる「村上春樹現象」ができて、音楽界、広告業界、喫茶店、小説などの分野においてその影響が見られる。但し、実際に日本語の原文で読むよりも中国語訳で読む人が多い。その意味で翻訳者における文化伝播の貢献が大きい。日本語翻訳家を養成するのが日本語教師の職務の一環だと思うので、本稿で述べたようなビューイング的観点と文化的要素が含まれる語学的観点による考察をもっと大事にするように呼びかけたいものである。

テキスト：

許俊雅編（2002）《王昶雄全集》「短歌 俳句」台北縣政府文化局

村上春樹（1982）『風の歌を聴け』（1984 6刷）講談社

頼明珠譯（1988）《聽風的歌》（2009a、4版5刷）時報文化

林建隆（1998）《生活俳句》探索文化

参考文献：

ウォルター・J・オング（1982）“ORALITY AND LITERACY”

桜井直文・他訳 1991『声の文化と文字の文化』藤原書店

柿崎隆宏（2010）「村上春樹『風の歌を聴け』論—過去へと向かう語りをめぐる—」『九大日文』15、九州大学

門倉正美（2011）「コミュニケーションをく見る—言語教育におけるビューイングと視読解」『早稲田日本語教育学』9号、早稲田大学大学院日本語教育研究科

国際交流基金企画（2009）『世界は村上春樹をどう読むか』文藝春秋

陳瑩玉（2006）《村上春樹《聽風的歌》中譯本研究》國立高雄第一科技大學應用日語系碩士論文

- 張明敏 (2009) 《村上春樹文學在臺灣的翻譯與文化》 聯合文學
- 藤井省三 (2007) 『村上春樹の中の中国』 朝日新聞出版
- 山根由美恵 (1999) 「村上春樹「風の歌を聴け」論:物語の構成と〈影〉の存在」『国文学攷』163号、広島大学国語国文学会
- 頼錦雀 (2013) 「『風の歌を聴け』の中国語訳の解剖」第2回村上春樹国際シンポジウム (頼錦雀 (2013) 『台日異文化能力育成研究2』 (致良出版社)収録)
- 頼明珠 (2009b) 〈以中文讀村上春樹的可能性〉 張明敏 《村上春樹文學在臺灣的翻譯與文化》6-7頁、聯合文學
- 李秋蓉 (2003) 《詹冰及其兒童詩研究》 雲林科技大學碩士論文
- 苗栗僑樂國小ホームページ <http://www.chiaolo.mlc.edu.tw>
(2013年2月10日検索)
- 蘋果日報 <https://tw.appledaily.com/new/realtime/20180206/1290412/> (2018年3月1日検索)
- 健康一番 ノーベル賞2015 村上春樹の受賞は? 毎年候補と言われるのに落選し続ける訳 <https://amccrh.com/3185.html>
(2018年3月1日検索)
- wikipedia <https://ja.wikipedia.org/wiki/村上春樹>
(2018年3月1日検索)

付記：本稿は2013年5月5日に淡江大学で行われた「村上春樹研究国際シンポジウム」で口頭発表した論文を大幅に加筆修正したものである。